

台風19号 災害協力活動経過報告書

1. 災害協力活動
2. 応急処置
3. 基盤整備
4. 機能回復
5. 魅力アップ

1. 災害協力活動

上田道と川の駅

速やかに協働で支援事務所を開設

食事の提供など要請へ迅速に対応

台風19号

台風19号の記録的な大雨の影響で、上田市の上田道と川の駅おとぎの里は開催を予定していた「信州上田楽市楽座・交流のマルシェ」を中止。13日朝は防災拠点としての機能を発揮し、速やかに官民協働の災害対応。地域支援事務所を開設した。

おとぎの里会員の農家や業者、イベント出店予定だったキッチンカー、

農産物・特産物販売のため会場していた上越市、清水市、和歌山県、群馬県に上田市と連携。避難所での食事提供など、支援要請への迅速な対応を行った。

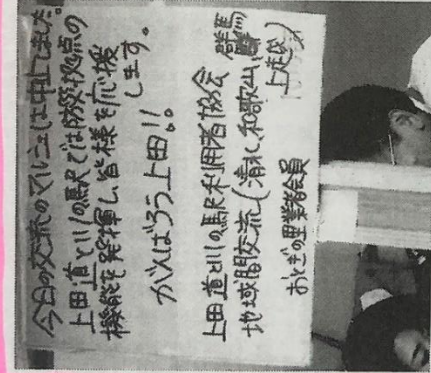
13日未明、停電によるトイレ使用不可が判明するや否や管理者(国交省)に連絡し、自家発電により復旧。事態を重く受け止め、事務所開設を決定した。午前9時を過

ぎると、避難所のひとつとなっている上田六中から200食の食事提供の要請があり、すぐに「備蓄しているカレーを12時を目的に届ける」とした。

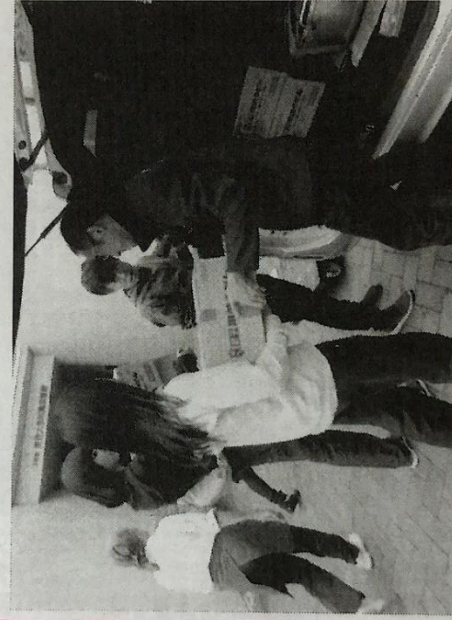
午前10時を過ぎると長野大学から450食の要請があり、「馬肉うどんを12時を目的に届ける」とした。イベント・マルシェで「おとぎの里」と共に事務局を担当する、市農産物マーケティング推進室職員と共に迅速に支援計画を立て、業者らの協力を得て12時前には調理した食物や食材、配膳用具などを車に積み込み

避難所へ向かった。車が到着すると、学生スタッフは速やかに運搬などの作業にあたり、おとぎの里スタッフと学食担当者らが調理仕上げを行った「うどん」を食堂、体育館などへ運び、避難者に提供。長野大学では学生スタッフや自らも避難してきた学生を含め、約100人がボランティアスタッフとして活動し、一部は、別の避難所(塩田中)へ向かったという。

避難者は「災害状況、避難の見通しなど不安がある中、このような支援は有り難い。心も体も温まる」と話した。また夜には上田創造館から要請があり、カレー約200食を届けた。「おとぎの里」代表世話人・石井孝二さんは「ヘリポートを持つ防災拠点として、安心、安全イベントを行うなど日ごろから、その機能を堅持している」とし、「理解者、協力者、仲間がいる。普段から持つ機能を発揮しただけ」と話した。



マルシェ中止と災害対応を施設中に貼ったの「お知らせ」を手書き



長野大学では学生スタッフが速やかに活動する

別所温泉旅館の温泉を無料開放!

ガンバレ上田! 温泉で元気に!

上田市の別所温泉旅館有志が、台風19号で被害を受けて避難されている人たちに、14日から旅館の温泉を無料開放している。対象者は、台風19号で市内で市指定の避難所に避難した人、避難中の人。15日(水)・16日(木)までの3日間で、時間は午後5時~8時。開放している旅館は上松や、旅館花屋、南條旅館、玉屋旅館、斎藤旅館、七草の湯、旅館つるや、旅館中松屋、かわせみの宿、かしわや本店、緑屋吉右衛門。問い合わせは別所温泉旅館組合 ☎38-2020へ。

台風19号の影響で中止となった主なイベントは、上田市の「げんきまるこ産業フェスタ2019」、「浦里四自治会大運動会(13日)」、「ルートイテックグループ・プリリアンフェスタ2019」、「トラックの日イベント」、東御市の「火のアーチフェスタ2019」、「ミマキエンジニアリング主催「ミマキまつり」、長和町の「第25回JAFフェスタ2019」和田会場など。また上田市の「市特殊詐欺等被害防止連絡協

議会、「チャイルドライオン」えた・子どもサポーター養成講座、5大学リレー講座(信州大学織維学部)は延期とした。また16日(水)に予定していた「上田地域域おこし協力隊初任者研修会」は延期に、18日(金)の「県災害対策本部上田地方部訓練」は中止とした。

上田市 小・中学校の通学 公立保育園の通園

上田市教委は、台風19号による千曲川左岸地域の小・中学校の通学について15日、千曲川の水位が住宅地側の地盤の高さより低い状況となっていることから、該当地区の城下小、川辺小、南小の各小学校和第四中、第六中は通常通りに授業を行った。また市健康こども未来部では同地区の城下保育園、下之条保育園について通常通り開園した。また東御市では北御牧保育園について、お昼持参での開園としている。

「信州上田楽市楽座 交流のマルシェ」中止～「災害協力活動」へ移行
活動記録/2019年10月12(土).13(日).14(月).15(火).16(水).17(木).18(金)

10/12(土)

- 6:30～ 入館～イベント内容の変更について打合せ。
- 7:00 夜間警備解除・引継(前日19時から警備/長野県パトロールを配置)
- 8:00～ ブース準備(軒下広場) 遠方からの出展者を中心としたセッティング
- 9:00～ abn「今ドキ!昼ドキッ!」生中継 リハ～本番～10時半 ゲスト:ラッシャー板前
- 9:30 13日イベント一部中止決定、出展・出演者への通知、SNS等による告知。
- 10:00～ 交流のマルシェ初日開催
- 14:00 繰り上げ閉祭・解散 (雨風が強くなったため)
・イベント機材、備品等建物南側軒下及び建物内に撤収
・施設備品、機材等風雨対応養生。
- 14:20 食堂浸水…北側風除室、西側出入口 → 土のう積み。浸水処理。
- 16:01 千曲川増水に伴う冠水恐れのため、園路通行止め連絡→半過自治会長
- 16:10 園路通行止め看板設置。
- 16:40 半過自治会役員との避難所対応について協議(上田道と川の駅 食堂)。
・半過自治会員が避難する場合は、一次避難所に避難し、自治会長の指揮下となる。
しかしながら緊急時には、指定管理者判断で、道の駅への避難を可能な範囲において、道の駅施設への受け入れをする旨を提示。自治会役員と共有。
・この場合、時間に関係なく、自治会長からおとぎの里世話人に連絡を取り、世話人はなるべく職員と道の駅を開館し受け入れることを合意。
- 19:00 夜間警備開始/長野県パトロールを配置
- 19:05 施設通常営業～閉館～職員帰宅。
- 20:30 施設再入館～食堂浸水処理。
- (21時、半過自治会各区のセンター、近隣小学校防災センターが1次避難所として開設)
- 21:30 消防団第7分団と情報共有 (第7分団道の駅入館)
- 23:00 食堂浸水処理後退館。
・雨が弱まり、半過自治会からの緊急避難連絡もないことから退館。

「信州上田楽市楽座 交流のマルシェ」中止～「災害協力活動」へ移行
活動記録/2019年10月12(土).13(日).14(月).15(火).16(水).17(木).18(金)

10/13(日)

- 6:00 入館、事務局打合せ。→本日のイベント中止を判断。
川の駅の被災状況確認
- 7:00 夜間警備解除・引継(前日19時から警備/長野県パトロールを配置)
- 7:40 国交省24時間トイレ棟が停電し、トイレ利用不可判明。
→国交省長野国道上田出張所へ電話 不通
→国交省長野国道事務所へ電話。
→国交省長野国道上田出張所長と電話が繋がったため、発電機にて電源供給を提案。
→国交省長野国道事務所上田出張所長 施設入り。
所長立会いのもと、中電からの受電を遮断し施設配電盤マスターブレーカーに
発電機を接続し通電。トイレ棟稼働。(10/14、16時まで)
- 7:45 おとぎの里全職員へ招集連絡。
・危険が無ければ出社するよう通知、予定していた職員全員出社。
- 8:00 災害対応仮設事務所開設(交流館)
- 8:10 「交流のマルシェ」改め「災害協力活動」とし、通常営業強化にて展開することを決定。
10/14出展・出演者にイベント中止を連絡。
キッチンカー、近隣出展者には、安全に出展できる方のみ活動参加を呼びかけ。
- 8:30～ 園路復旧作業。
・園路に流入堆積した土砂流木の除去と被害調査復旧作業のために重機作業。
・車両の通行は可能となったが、倒壊した防球ネットに土砂が堆積し、即座に撤去ができない箇所があり、園路幅員が狭く通行が危険なため一般車の通行止めを継続。(上田市と共に判断)
- 9:00 職員により、食堂、物販コーナーの通常営業開始。
- 10:00 会員、遠方出展者により通常営業を強化し、飲食・物販を展開。
- 10:10 上田市からの、避難所向け食事支援要請を受諾。
・会員、キッチンカー、県外出展者、市職員の協力を得て、3便850食を備蓄より準備し調理。遠方からの出展者からの食品提供、運搬車両提供有り。
→調理スタッフチームと共に配達。
→避難所スタッフと協力して提供。
昼食:六中カレー250食、長大馬肉うどん400食。夕食:創造館カレー200食
- 13:30 非常時に備え、出展者(キャプテンスタッグ)協力により、10人用ワンポールテント設営。
- 16:00 会員、遠方出展者による、通常営業強化としての、本日の飲食・物販活動終了
- 17:00 食堂閉館。交流センター(物販コーナー、案内所)は18時閉館。
- 18:00 遠距離出展者、会員、職員との活動会議
- 19:00 夜間警備開始/長野県パトロールを配置
- 21:30 退館。・半過自治会からの緊急避難連絡もないことから退館。

「信州上田楽市楽座 交流のマルシェ」中止～「災害協力活動」へ移行
活動記録/2019年10月12(土).13(日).14(月).15(火).16(水).17(木).18(金)

10/14(月・祝)

6:00 入館、事務局打合せ。→本日のイベント中止を判断。

7:00 夜間警備解除・引継(前日19時から警備/長野県パトロールを配置)

8:00 会場準備

「交流のマルシェ」改め「災害協力活動」として、通常営業強化での展開を継続

出展・出演者にイベント中止を再連絡、問い合わせ対応

キッチンカー、近隣出展者には、安全に出展できる方のみ活動参加を呼びかけ。

9:00 職員により、食堂、物販コーナーの通常営業開始、

10:00 会員、遠方出展者により通常営業を強化し、飲食・物販を展開。

15:00 災害協力態勢を縮小、片付け、出展者解散。

16:00 停電復旧により、国交省と協議し、発電機から売電へ切り替え。

17:00 災害対応仮設事務所閉設。

18:00 川の駅被災現場へ軽四駆車が侵入し、1時間以上スタック。
→警察対応。

19:35 退館。

川の駅復旧について打合せ…上田市、国交省(戸倉)

午後、園路の通行止め看板が持ち去られたため、おとぎの里の看板設置。

10/15(火) 道の駅災害協力活動資機材片付、川の駅復旧打合せ。

自治会長との情報交換し、園路通行止め看板の強化。

→単管バリケード設置。浦野川沿いは建設事務所と連絡を取りおとぎの里で設置。
川の駅立ち入り禁止看板設置。

10/16(水) 上田市と打合せ 園路と全体の復旧を区分し、先ずは園路復旧とした。

10/17(木) 11時上田市土木課との現場立ち合い。 午後から復旧作業開始 園路排土他。

10/18(金) 園路復旧作業 7:30から 重機作業(タイヤドーザー、8:30からバックホー作業)開始
防球ネット処理、園路排土他。

園路17時通行止め解除。

最徐行看板設置。